

平成31年度予算を一般家庭の収支で見る

いな家の家計簿



伊奈町の平成31年度予算は数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで「いな家の家計簿」に置き換えてみました。いな家にはどんな収入があって、どんなところにお金を使っているのか見てみましょう。（平成31年度一般会計予算を月の生活費が40万円の家庭に置き換えています。）

わが家の家計簿

収入	
給料(町税)	194,800円
親からの援助 (国県支出金・地方交付税など)	142,800円
パート収入など(その他)	18,800円
先月からの繰越金(繰越金)	10,400円
借金(町債)	26,400円
預貯金の取り崩し(繰入金)	6,800円
合計	400,000円

4月分

支出	
食費(人件費)	87,600円
光熱水費・修繕費 (物件費・維持補修費)	115,600円
医療費(扶助費)	70,400円
家の増改築費(普通建設事業費)	16,400円
ローンの返済(公債費)	38,400円
子どもへの仕送りなど(繰出金)	36,400円
預貯金(積立金)	2,400円
その他雑費 その他(補助費・貸付金・予備費)	32,800円
合計	400,000円

収入について

いな家では、自分たちで稼いだ収入（給料・パート収入）は全収入の半分程度しかなく、親からの援助も3割を超えています。足りない部分は貯金を取り崩してやりくりをしています。現状では、給料やパート収入が大幅に上がることは期待できません。

支出について

医療費やローンの返済が約3割を占め、家計に重くのしかかっています。不測の事態に備え貯蓄を増やしたいところですが、少ししかできていません。食費、光熱水費などを切り詰めています。どこに優先的にお金を使うべきかしっかり考えて家計をやりくりしていく必要があります。



清の一言——大島清 「平成31年度 施政方針（要約）」



私は、就任以来、一貫して、「ずっと住みたい緑にあふれたキラキラ光る 元気なまち」の実現に向け、職責の重大さを日々感じながら多くの皆様のご指導やご協力をいただき、町政運営に取り組んでまいりました。

私は、町民の皆様のため、未来を担う子どもたちのため、「しっかりと将来を見据え、何が求められ何をなすべきか、スピード感を持って、的確に対応すること。」を常に念頭におき、諸施策に取り組んでいく決意でございます。

「町民の誰もが笑顔になれる」まちづくりを進めていきたい、「今、伊奈がおもしろい！」と皆様に言っていただけるようなまちを創ってまいりたい。そのためには、「総合振興計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた各種施策を着実に実施していくとともに、その内容を検証し、新たな視点と将来展望を総合振興計画 後期基本計画に反映させ、町の発展を持続させていかなければならないと考えております。

それでは、平成31年度実施予定の主な事業につきまして、伊奈町総合振興計画 前期基本計画の5つの分野別体系に基づきご説明を申し上げます。

（巻頭の特集ページに掲載した町制施行50周年記念関連事業、「今、伊奈がおもしろい！」関連事業、町民生活の利便性向上事業、子ども子育て支援・健康づくり関連事業、教育環境整備事業以外のものを紹介していきます。）

1つ目の“安心・安全なまちに暮らす”の「地域防災力の向上」では、共助を目的とした住民参加型の防災訓練の開催時期や場所について検討するとともに、訓練内容をさらに充実させ、町民の防災意識の向上を図ってまいります。

2つ目の“健康で心安らぐまちに暮らす”の「地域医療体制の充実」では、昨年から実施しておりますがん対策のひとつとして他市に先がけ胃内視鏡検診をはじめ、引き続き医療機関と連携し夜間および休日の医療体制の確保に努め、町民が安心して生活

できる環境を整備してまいります。

3つ目の“豊かな心を育むまちに暮らす”の「質の高い学校教育を推進するための環境の充実」では、全小・中学校への自動体外式除細動器（AED）の増設、学校給食センターの設備改修等、教育環境の充実を図ってまいります。

4つ目の“緑あふれる、にぎわいのあるまちに暮らす”の「環境にやさしい地域づくり」では、引き続きクリーンセンターの老朽化対策とあわせて上尾市と新たなごみ処理施設建設のため、広域連携に取り組んでまいります。

「まちのにぎわいを創る事業活動の活性化」および「地域資源を活かした観光振興」では、町内の商工業者は中小企業等の占める割合が多いことから、「（仮称）中小企業・小規模企業振興基本条例」を策定し、町内産業の活性化を目指してまいります。また、バラを縁として、伊奈町・毛呂山町・川島町、3町による相互交流事業を実施し、住民相互の交流やバラ園観光を通じた観光振興を図ります。

そして、平成28年度より丸の内地区で実施している、忠次公によるまちづくり事業を官民協働で引き続き実施し、この事業を町の3大まつりである「さくらまつり」「バラまつり」「伊奈まつり」とともに町の魅力として内外に発信するため、積極的なシティセールスを展開してまいります。

5つ目の“町民と行政が協働するまちに暮らす”の「地域コミュニティの活性化と協働の推進」では、町制施行50周年記念事業の実行委員会を立ち上げ、町民の皆様と各種記念事業を実施してまいります。

こうした事業によって、「今、伊奈がおもしろい！」と感じていただき、「日本一住んでみたいまち、ずっと住み続けたいまち」と誰もが思っていただけのまちづくりを進めてまいりますとともに、「新生・伊奈町」の創造に向け、私が掲げて実施してまいりました5つの重点施策に、全力で取り組むことが、さらなるまちの発展に繋がるものと確信しておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。